



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月8日

上場会社名 平安レイサービス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2344 URL <http://www.heian-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 相馬 秀行
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 平井 良也 (TEL) 0463-34-2771
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	2,404	9.5	462	37.3	490	34.5	330	40.6
28年3月期第1四半期	2,194	△0.4	336	5.7	364	4.8	235	10.0

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 334百万円(39.0%) 28年3月期第1四半期 240百万円(10.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	25.19	—
28年3月期第1四半期	17.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	30,763	15,712	51.1
28年3月期	31,122	15,522	49.9

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 15,712百万円 28年3月期 15,522百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	10.00	—	11.00	21.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	11.00	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,599	3.2	744	3.8	793	2.7	500	3.3	38.08
通期	9,784	2.1	1,838	1.3	1,931	0.1	1,217	1.2	92.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	14,667,000株	28年3月期	14,667,000株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	1,532,967株	28年3月期	1,532,967株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	13,134,033株	28年3月期1Q	13,134,033株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済の概況は、消費者マインドに足踏みがみられ、おおむね横ばいとなっており、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあり、回復に向かうことが期待されております。

このような環境下におきまして、当社グループは周辺売上増強、新商品・新サービスの商品化による収益源の確保に努めるとともに、コスト改善による利益率の維持向上に努めてまいりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

① 冠婚事業

当事業では、広告強化として施設の特徴を凝縮したPR動画のインターネット配信を行ったことに続いて、資料請求をいただいた方へ、スタッフによる「顔」の見える施設紹介の動画を案内するなど、来館につながるためのツールを拡充し来館者数の増加に努めてまいりました。

一方、教育面では、継続したフロントスタッフの新規対応・提案力強化の研修を実施し、営業力強化を図り婚礼成約数の増加に努めてまいりました。

また、各種宴会などの婚礼外利用では、季節ごとの様々なプランを用意し個人や企業・団体への営業活動を継続して実施してまいりました。

その中で、婚礼施行組数は前年同期に比べ増加いたしました。婚礼の小規模化の影響もあり、一組単価は減少、宴会件数は増加となりました。

その結果、売上高は95百万円（前年同期比1.6%減少）、継続的なコスト改善等に取り組み、営業利益は7百万円（前年同期比28.7%増加）となりました。

② 葬祭事業

当事業では、前連結会計年度に開業した「エンディングプレイス鴨宮」、「湘和会館大井」、「湘和会館国府」が通年稼働を始め、順調に施行件数を伸ばしました。

商品面では、社内製作による参加型葬儀のオリジナル商品として、故人を中心として惜別する「追悼壇」、オブジェや装飾を生花と融合させた「追悼生花祭壇」、故人を生花で囲んで送る「花園」、あらゆる音楽ソースを忠実に再現できる「オリジナル大型スピーカー」による音楽葬などの提案を継続して行ってまいりました。また、食を通じご家族と会葬者のふれあいの場作りをするため、面前で調理し出来立ての天ぷらを提供する、社内製「消臭機能付きIHクッキングワゴン」の性能を強化するなど、付加価値のあるオリジナル商品の改良を進め顧客満足度の向上に努めました。

また、各施設の認知度向上や生前相談者数の増加を図るため、オリジナル商品を中心とした提案型の施設見学会や内覧会を通じて営業活動に努めてまいりました。合わせて、各種広告媒体を駆使して、より細やかな情報発信を定期的に行うなど、広告活動の強化に努めてまいりました。

その中で、当社主要エリアの死亡人口は前年同期に比べ増加し、シェア率も上昇したため、葬儀施行件数は増加いたしました。また、葬儀一件単価は前年同期に比べ減少となりました。

その結果、売上高は2,050百万円（前年同期比11.3%増加）、営業利益は614百万円（前年同期比24.3%増加）となりました。

③ 互助会事業

当事業では、継続して行っている会員への告知・利用促進活動により互助会加入者総数に対する施行利用率が上昇いたしました。

その結果、売上高は63百万円（前年同期比7.5%増加）、営業利益は32百万円（前年同期比16.7%増加）となりました。

④ 介護事業

当事業では、売上高は257百万円（前年同期比2.2%増加）、経費面では人員採用の強化により教育研修のための費用が増加となりました。

その結果、営業利益は12百万円（前年同期比17.9%減少）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における、売上高は2,404百万円（前年同期比9.5%増加）、営業利益は462百万円（前年同期比37.3%増加）、経常利益は490百万円（前年同期比34.5%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は330百万円（前年同期比40.6%増加）となりました。

なお、各事業の売上高、営業損益はセグメント間の取引による金額を含んでおります。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の連結財政状態は、総資産は前連結会計年度末に比較して358百万円の減少となりました。流動資産では、法人税等の支払及び供託金の預入れ等により現金及び預金が1,262百万円減少、有価証券が償還により199百万円の減少となりました。有形固定資産では、新規店舗建設等によりその他に集計した建設仮勘定が152百万円増加、投資その他の資産では、供託金が930百万円増加しております。

負債合計は、前連結会計年度末に比較して548百万円の減少となりました。流動負債では、法人税等の納付により未払法人税等が407百万円、買掛金が35百万円減少いたしました。固定負債では、前払式特定取引前受金が68百万円減少しております。

純資産は、前連結会計年度末と比較して189百万円の増加となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月9日に公表いたしました業績予想のとおりであります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,515,832	9,253,343
売掛金	223,964	219,935
有価証券	400,279	200,300
商品及び製品	38,373	39,906
原材料及び貯蔵品	114,041	114,195
繰延税金資産	88,091	21,748
その他	100,100	184,520
貸倒引当金	△1,687	△2,275
流動資産合計	11,478,996	10,031,675
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,889,559	3,833,175
機械装置及び運搬具（純額）	96,607	117,268
工具、器具及び備品（純額）	143,130	143,111
土地	7,046,470	7,046,470
その他	43,806	196,037
有形固定資産合計	11,219,575	11,336,064
無形固定資産	29,699	30,801
投資その他の資産		
投資有価証券	634,582	678,887
長期貸付金	30,000	30,000
繰延税金資産	251,169	248,702
供託金	5,510,000	6,440,000
その他	1,968,545	1,967,701
投資その他の資産合計	8,394,297	9,365,291
固定資産合計	19,643,573	20,732,157
資産合計	31,122,569	30,763,833

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	216,645	181,077
未払法人税等	484,198	76,375
掛金解約手数料戻し損失引当金	5,519	4,350
その他	721,494	683,102
流動負債合計	1,427,858	944,906
固定負債		
繰延税金負債	36,930	38,322
役員退職慰労引当金	83,912	83,912
退職給付に係る負債	116,457	116,483
資産除去債務	113,717	116,246
前払式特定取引前受金	13,800,433	13,731,562
その他	20,624	20,204
固定負債合計	14,172,075	14,106,732
負債合計	15,599,933	15,051,639
純資産の部		
株主資本		
資本金	785,518	785,518
資本剰余金	2,838,393	2,838,393
利益剰余金	12,540,688	12,727,087
自己株式	△670,468	△670,468
株主資本合計	15,494,131	15,680,529
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,504	31,664
その他の包括利益累計額合計	28,504	31,664
純資産合計	15,522,635	15,712,194
負債純資産合計	31,122,569	30,763,833

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	2,194,982	2,404,450
売上原価	1,553,300	1,624,739
売上総利益	641,681	779,710
販売費及び一般管理費	305,048	317,587
営業利益	336,632	462,123
営業外収益		
受取利息	3,005	1,154
受取配当金	1,544	1,580
掛金解約手数料	6,873	9,655
掛金解約手数料戻し損失引当金戻入益	2,391	-
その他	16,251	17,325
営業外収益合計	30,065	29,714
営業外費用		
供託委託手数料	958	531
掛金解約手数料戻し損失引当金繰入額	-	109
保険解約損	545	-
その他	408	431
営業外費用合計	1,912	1,073
経常利益	364,785	490,765
税金等調整前四半期純利益	364,785	490,765
法人税、住民税及び事業税	56,744	91,070
法人税等調整額	72,782	68,821
法人税等合計	129,526	159,892
四半期純利益	235,259	330,872
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	235,259	330,872

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	235,259	330,872
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,097	3,160
その他の包括利益合計	5,097	3,160
四半期包括利益	240,356	334,033
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	240,356	334,033
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	96,557	1,843,203	—	252,508	2,192,270	2,711	2,194,982
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	59,161	—	59,161	—	59,161
計	96,557	1,843,203	59,161	252,508	2,251,431	2,711	2,254,143
セグメント利益	6,012	493,888	28,208	15,827	543,938	553	544,491

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	543,938
「その他」の区分の利益	553
全社費用(注)	△207,858
四半期連結損益計算書の営業利益	336,632

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	95,042	2,050,889	49	257,944	2,403,926	523	2,404,450
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	63,577	-	63,577	-	63,577
計	95,042	2,050,889	63,627	257,944	2,467,503	523	2,468,027
セグメント利益	7,738	614,093	32,921	12,995	667,749	244	667,993

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	667,749
「その他」の区分の利益	244
全社費用(注)	△205,870
四半期連結損益計算書の営業利益	462,123

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。